



「GX Future Report」、「GX Future Lab」を公表しました

GX に関する国内外の進捗状況や、重点的に深掘りしたテーマを整理し、「GX Future Report」としてとりまとめました。また、「GX Future Lab」を公表しました。

GX 推進機構は、GX に関する調査・研究、異業種連携、政策提言、国際発信等にも注力しており、この度、GX に関する国内外の進捗状況や、重点的に深掘りしたテーマを整理し「GX Future Report」としてとりまとめました。また、これに合わせ、GX 推進機構の役職員が行う調査研究成果を取りまとめる「GX Future Lab」を公表しました。

いずれも以下の GX 推進機構 HP「GX Future Academy」のページに掲載しております。

－掲載先 URL: <https://www.gxa.go.jp/gx-academy/>

1. 「GX Future Report」の概要

GX に関する理解促進とリテラシー向上を目的に、年 1 回程度のペースでレポートを発信していくことを予定しており、本日、GX 推進機構として初めてとなる「GX Future Report 2025」を公表しました。

当レポートの第一部では、企業の経営判断や対応の検討の一助になるよう、世界の GX の潮流を概観する「GX 進捗状況」をとりまとめました。また、第二部では、日本における GX 製品市場の成立可能性を検討すべく、GX 関連製品の価格転嫁・需要動向をテーマとして実施した調査・分析の結果をまとめています。

(GX Future Report 2025 の内容)

第一部 GX Recent Trends/GX 進捗状況

第二部 GX Feature Theme/GX における深掘テーマ: GX 関連製品の価格転嫁・需要動向の調査分析

2. 「GX Future Lab」の概要

学界、研究機関等の関係する方々から幅広くコメントいただき、今後のGXに関する調査研究に役立てることを目的としてレポート等を発表します。ただし、内容は、全て著者個人の責任において執筆しており、GX 推進機構の見解を示すものではありません。

(今回公表するレポート)

- ・ No.1「我が国における CO2 排出量の要因分解」 天達泰章 2025 年 11 月
- ・ No.2「電力債におけるトランジション・ボンドのグリーニウム分析」 天達泰章 2025 年 11 月

(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、清水、天達、會田

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。